

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

		学校教育プログラム		
		専門性	創造性	倫理性
URGCC-Advanced学習教育目標		専門分野に関する高度な知識、技能、思考法を体系的に身に付ける。	知識、技能、思考を独創的・創造的に発展させ、活用することができる。	高度な倫理性を身に付けるとともに、社会的責任の熟慮を欠かすことなく、主体的に行動することができる。
大学院教育プログラム学習教育目標	<p>教員としての基礎的資質のうえに、学校教育に関するより高度な理論的基盤と実践力を培い、未来を担う子どもたちの教育に専門的力量とリーダーシップを発揮できる人材を養成するために、以下の修得を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文・社会・自然・芸術に関する広い視野に裏打ちされた清新な学識 ・さまざまな今日教育課題に柔軟に対応できる見識 ・教育者としての不断の自己研鑽を支える研究能力と専門性 ・沖縄の文化や教育的環境に関する深い理解 <p>上記に加え、各専攻では次に掲げる専門性、能力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校教育専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育をめぐる種々の問題について理論的・教育実践的な側面からも追究し、教育実践ができる能力 ○特別支援教育専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育に関する最新の基礎理論と正しい科学的知識を習得し、理論的・教育実践ができる能力 ・スクールリーダーとして科学的根拠に基づいた実践の検証と提案ができる能力 ○教科教育専攻 <ul style="list-style-type: none"> ・教科別の専修・領域ごとに分かれた履修体系により得られる専門性と、それに基づく創造力を教育現場で活用できる能力 	○	○	○
		<p>(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)</p> <p>学校教育をめぐる種々の問題、インクルーシブ教育及び人文・社会・自然・芸術に関する清新な学識の修得を学習教育目標として「専門性」を身に付け、さまざまな今日教育課題に柔軟に対応でき、教育者としての不断の自己研鑽を支える研究能力と専門性に基づく創造力を教育現場で活用できる能力の習得を学習教育目標として「創造性」と「倫理性」を身に付けることを目標としている点</p>		